

注意

入札制度が変わりました。

- 暴力団員等や、役員に暴力団員等がいる法人は、買受人となれません。
- 暴力団員等から資金の提供を受けた個人・法人は、買受人となれません。

入札の際に、次の書面の提出が必要になりました。

(入札書ごとに必要です。)

暴力団員等に該当しない旨の **陳述書** (個人・法人を問わず)

※入札時に提出がないと入札無効となります(追完・提出後の訂正は不可)。

※記載に不備があった場合、入札が無効になる場合があります。

(よくある誤り)「陳述」欄「☐自己の計算において・・・ありません」の☐のチェックは、「他人から資金の提供を受けて、当該他人のために入札に参加する場合等」にチェックするものです。金融機関から融資を受けて自己のために不動産を取得する場合には、チェックは不要です。

住民票

(個人の場合)

資格証明書

(法人の場合)

※入札時に提出がないと入札無効となります(追完不可)。

※住民票は、氏名・住所・生年月日・性別の記載があり、マイナンバーが記載されていないものを提出してください。

※入札する日において発行後3か月以内のものを提出してください。

宅地建物取引業の免許証の写し (宅地建物取引業者の場合)

※有効期限内のものを提出してください。

(入札方法に関する問合せ)

〒983-8639 仙台市青葉区片平一丁目6番1号 仙台地方裁判所執行官室 ☎022-223-3845

期 間 入 札 の 公 告

令和 8 年 8 月 5 日

仙台地方裁判所第 4 民事部

裁判所書記官 柏 賢 子

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8 年 8 月 25 日 午前 9 時 00 分から 令和 8 年 9 月 1 日 午後 5 時 00 分まで
開札期日	日 時 令和 8 年 9 月 3 日 午前 10 時 00 分 場 所 仙台地方裁判所開札場
売却決定 期日	日 時 令和 8 年 9 月 18 日 午後 3 時 00 分 場 所 仙台地方裁判所第 4 民事部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則 33 条)	別紙物件目録中、☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8 年 8 月 5 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和 8 年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	14, 063, 000 11, 250, 400	一括	2, 812, 600	157, 682	25, 743
1	4, 494, 000				
2	9, 569, 000				



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--------------------------------|
| 1 | 所 在 | 気仙沼市田中前四丁目 |
| | 地 番 | 7番11 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 264.48平方メートル |
| 2 | 所 在 | 気仙沼市田中前四丁目7番地11 |
| | 家屋 番号 | 7番11 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 |
| | 床 面 積 | 1階93.38平方メートル
2階52.12平方メートル |



33

物 件 明 細 書

令和 8年 6月30日

仙台地方裁判所第4民事部

裁判所書記官 平 塚 秀 喜

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。

5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--------------------------------|
| 1 | 所 在 | 気仙沼市田中前四丁目 |
| | 地 番 | 7番11 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 264.48平方メートル |
| 2 | 所 在 | 気仙沼市田中前四丁目7番地11 |
| | 家屋 番号 | 7番11 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 |
| | 床 面 積 | 1階93.38平方メートル
2階52.12平方メートル |



令和 7年(ヌ)第 139号
令和 8年 2月 2日受理
令和 8年 3月 11日提出

現況調査報告書

仙台地方裁判所

執行官 佐 藤 俊 也 (印)

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 気仙沼市田中前四丁目 |
| | 地 番 | 7 番 1 1 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 6 4. 4 8平方メートル |
| 2 | 所 在 | 気仙沼市田中前四丁目 7 番地 1 1 |
| | 家屋 番号 | 7 番 1 1 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 鉄筋コンクリート造陸屋根 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 9 3. 3 8平方メートル
2 階 5 2. 1 2平方メートル |



不動産の表示	「物件目録」のとおり			
住居表示	未実施			
土地	物件 1			
現況地目	☒ 宅地（物件 1） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ （物件 ）			
形状	☐ 公図のとおり ☒ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり			
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり			
下記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）			
その他の事項	物件 1 の北東側で接する 19 番の土地（地目公衆用道路，地積 396 m ² ，所有者気仙沼市）及び南東側で接する 23 番の土地（地目公衆用道路，地積 699 m ² ，所有者国土交通省（旧建設省））はいずれも市道である。			
建物	物件 2			
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる（ ☐ 主たる建物 ☐ 附属建物） ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：			
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類： 構造： 床面積： }			
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を 住居 として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり			
上記以外の敷地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）			
その他の事項	物件 2 所有者所有のスチール製物置（動産）が存する。物件 2 の建物内では猫 1 匹が飼われている。過去の地震等により，2 階サッシ戸下部に損傷箇所が認められる。物件 2 はオール電化の仕様となっている。			
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある { 地方裁判所 支部 平成 年（ ）第 号 保管開始日 平成 年 月 日 }			
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり			

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

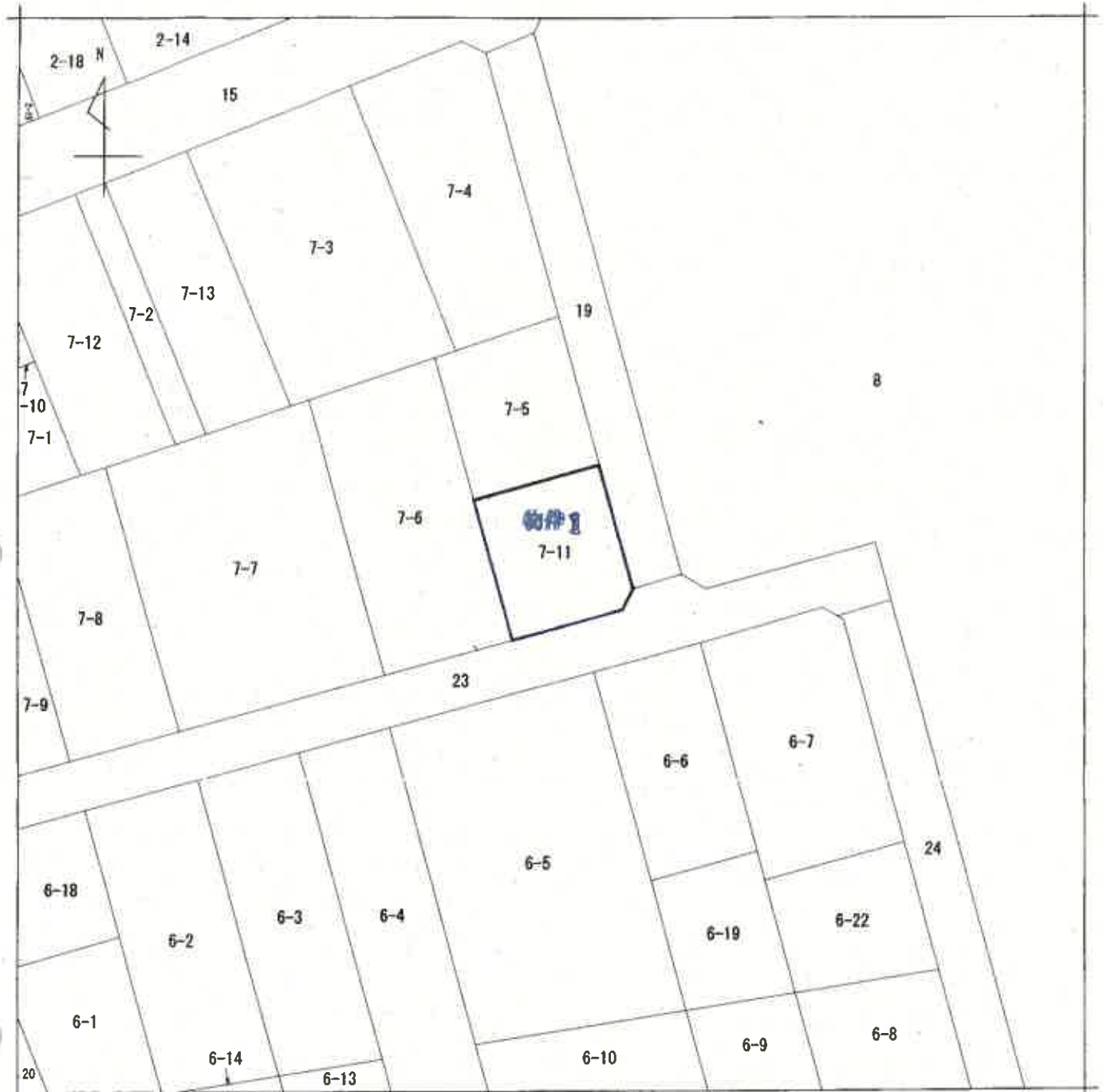
関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ A (所有者)	現在、物件2には、私たち夫婦が住んでおり、他に貸している部分等はありません。物件2の2階サッシ戸の下部やクロスに地震による損傷箇所があります。物件2はオール電化の仕様になっています。物件2の建物内では猫1匹を飼っています。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
8年2月20日 (金) 9:30-9:40	物件所在地	物件確認 写真撮影
8年2月27日 (金)	執行官室	所有者に対し、調査期日通知及び書面照会書送付
8年2月18日 (水) 11:20-11:30	仙台法務局塩竈支局	全部事項証明書受領
8年3月6日 (金) 13:40-14:30	物件所在地	立入調査 占有調査 間取確認 写真撮影 所有者 Aから事情聴取 (評価人同行)
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
(特記事項) ☒ 令和 8年 3月 6日 目的物件は不在で施錠されていることが予想されたので、解錠技術者及び立会人を同行して臨場した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち会わせ、解錠技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

公 図 写



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

地番区域見出し

田中前4丁目

A4判に縮小

請求部	所在	気仙沼市田中前四丁目				地番	7番11			
出力縮尺	1/500	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面		種類	土地区画整理所在図
作成年月日	昭和53年3月			備付年月日(原図)		補記事項				

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和7年12月12日
仙台法務局気仙沼支局
登記官

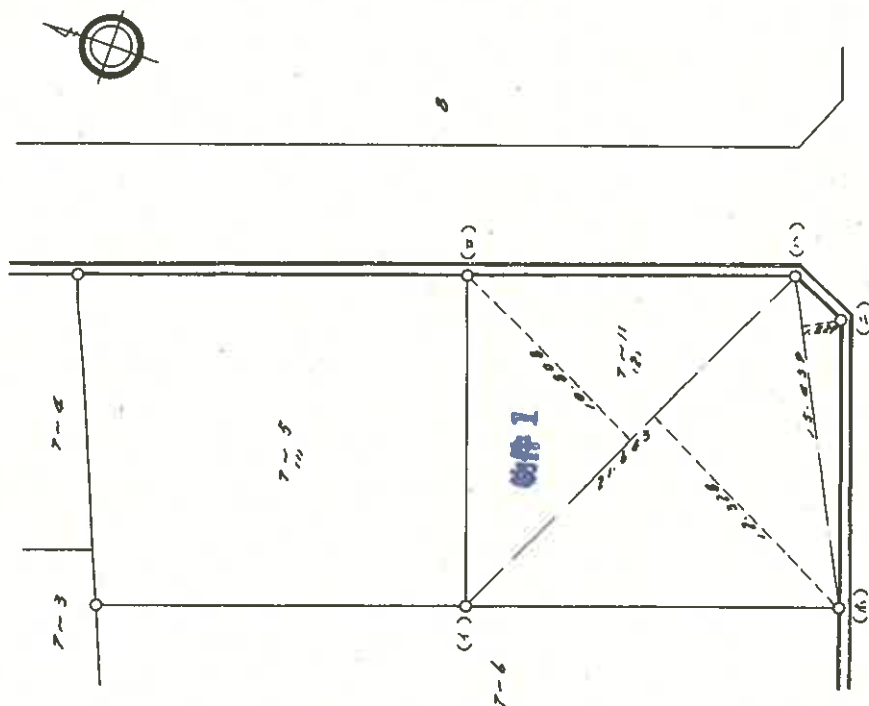
請求番号：8-1
(1/1)

(5 枚目)

7086

地積測量図

地番	7-5-11
土地の所在	宮城県仙台市田中前四丁目



21.403m x 10.403m = 223.817544
 21.403m x 21.403m = 458.129009
 223.817544 + 458.129009 = 681.946553
 681.946553 / 2 = 340.9732765
 340.9732765 m²

地積 264.48 m²

A4判に縮小

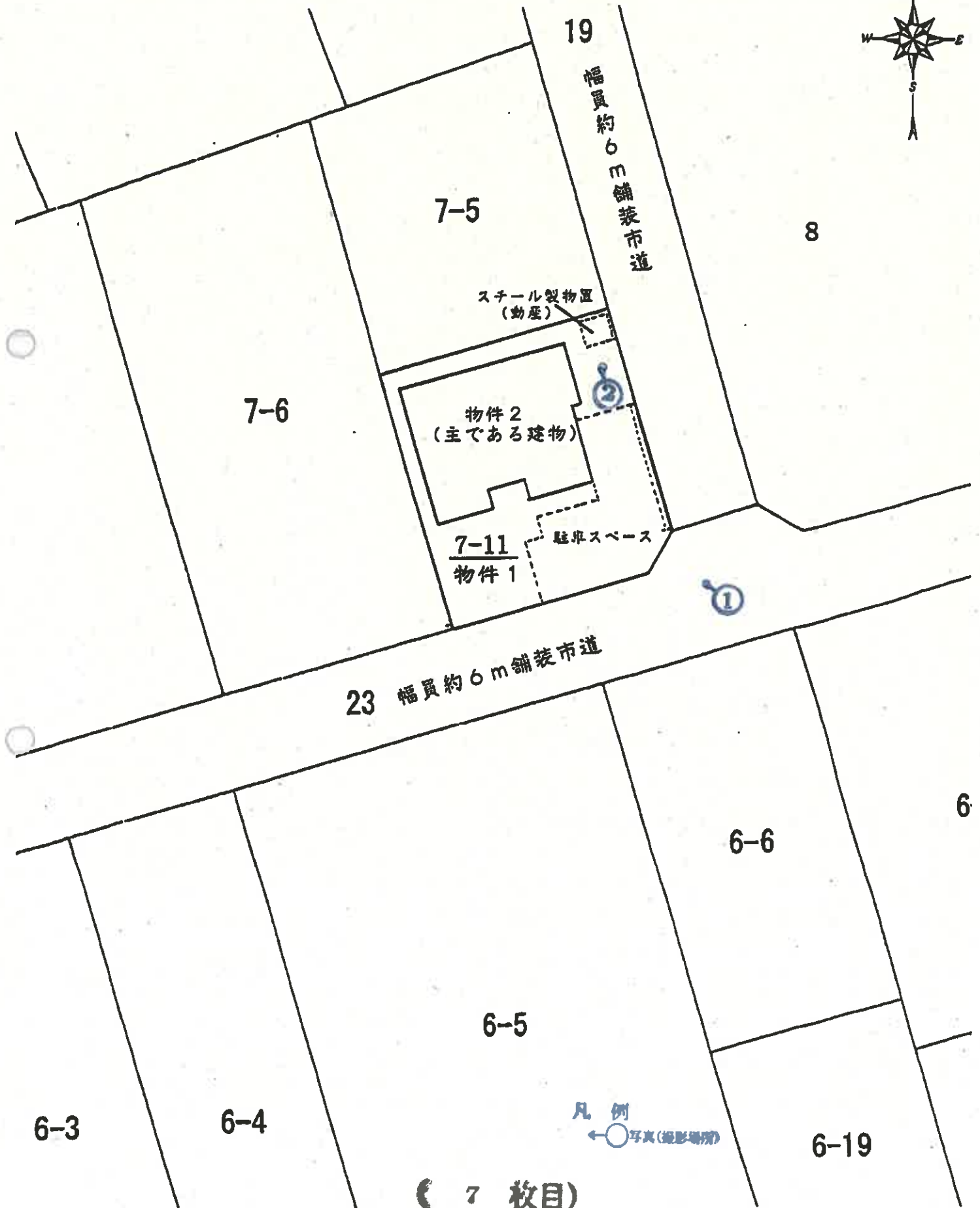
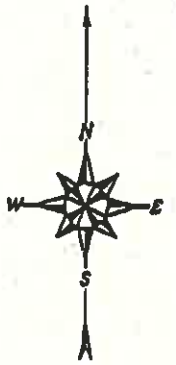
作成者	宮城県土地家屋調査士会
申請人	宮城県土地家屋調査士会
縮尺	1/250
57年1月3日作製	557.1.11

これは図面に記載されている内容を証明した書面である。
 令和7年12月12日 仙台支務局宮仙沼支局 登記官

(6 枚目)

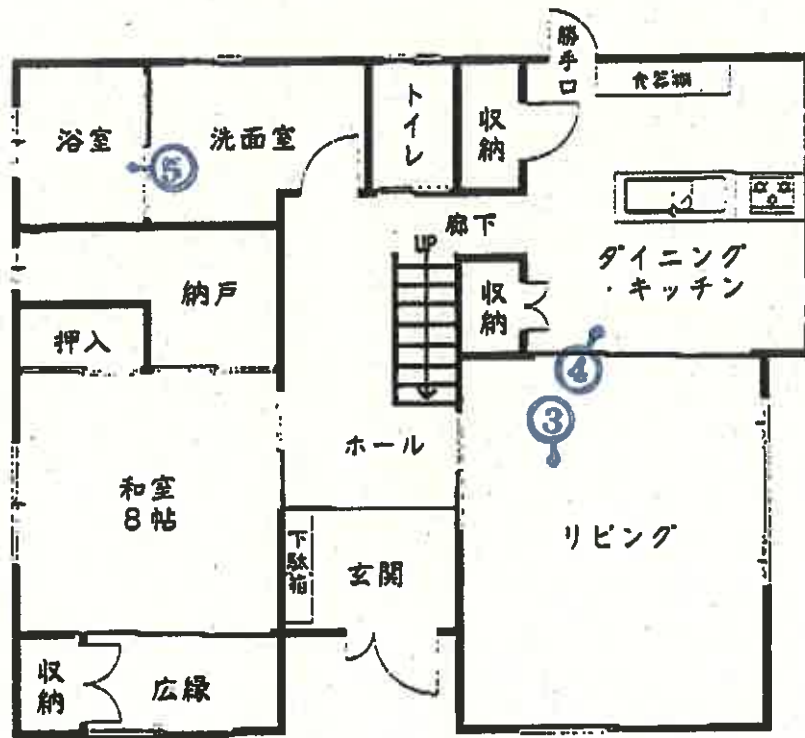
土地建物位置関係図

縮尺 1 : 300

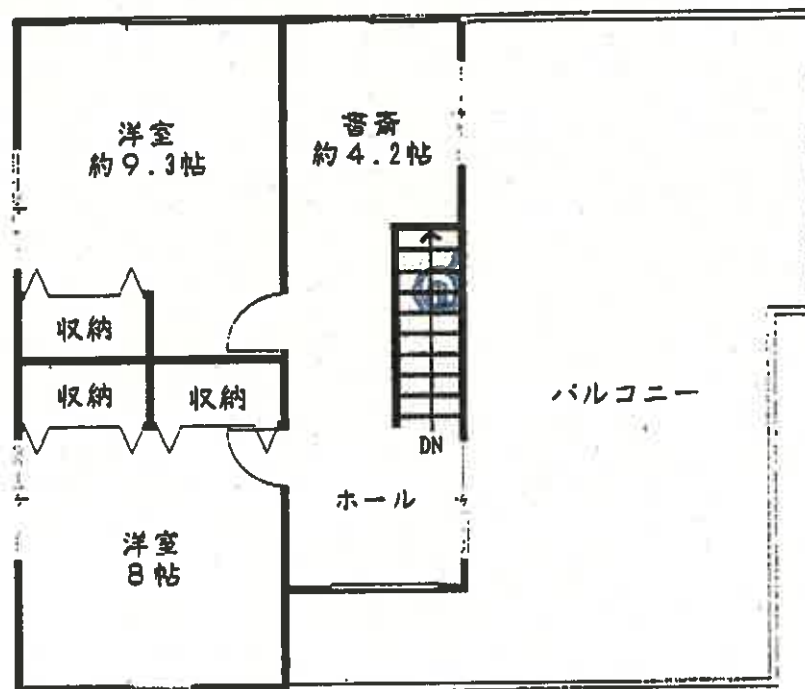


間 取 図

〔物件 2 : 主である建物〕



1 階



2 階

凡 例

←○写真(撮影場所)

縮尺 1 : 100

写 真 1

市道

物件 1

物件 2

市道

スチール製物置 (動産)



写 真 2

スチール製物置 (動産)



写 真 3



写 真 4



写 真 5



写 真 6

サッシ戸下部の損傷箇所



令和 7 年 (ヌ) 第 139 号

令和 8 年 3 月 6 日 現地調査

令和 8 年 3 月 12 日 評 価

仙台地方裁判所 第 4 民事部 御 中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

菅 原 史 朗

第1 評 価 額

一 括 価 格	
金 14,063,000 円	
内 訳 価 格	
物件1(土地)	金 4,494,000円
物件2(建物)	金 9,569,000円

- ① 一括価格は、物件1・2の各不動産について、一括売却(民事執行法61条本文)を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- ② 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③ 物件1の土地の内訳価格は物件2の建物のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評 価 の 条 件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないのが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは、物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記と同じ

番号	所 在 等	登 記	現 況
1	所 在 地 番 地 目 地 積	別紙物件目録記載のとおり	
2	所 在 家屋番号 種 類 構 造 床 面 積		
番号	特 記 事 項		
	なし		

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位 置 ・ 交 通	J R大船渡線『気仙沼』駅から南方約2.9km（道路距離） （別添位置図参照）	
付 近 の 状 況	近隣地域は、国道45号線気仙沼バイパスの北東側背後に位置し、一般住宅を主体とし、低層アパート、医院及び葬祭会館等も見受けられる地域である。 街路条件は、幅員約6m舗装市道が標準であり、対象の西方約350m（道路距離、以下同じ）で上記国道45号線気仙沼バイパスに、北東方約850mで県道気仙沼唐桑線に接続しており、周囲の幹線街路との関係位置が良好である。 J R大船渡線「気仙沼」駅から約2.9kmとやや離れているが、商業施設としては、「イオン気仙沼店」へ約1kmと近接している。又、公共施設としては、気仙沼市役所へ約2.8km、九条小学校へ約1.1km、気仙沼中学校へ約2.4kmとなっており、総合的な利便性は普通程度である。 今後も当分の間は、現状のまま推移すると予測される。 幅員約6m市道に接面する地積250～300㎡程度の一般住宅の敷地が標準的使用と認められる。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 （道路の幅員等の 個別的な規制を 考慮しない 一般的な規制）	都 市 計 画 区 分	非線引き都市計画区域内
	用 途 地 域	第1種住居地域
	建 蔽 率	指定 60%
	容 積 率	指定 200%
	防 火 規 制	指定なし
	そ の 他 の 規 制	立地適正化計画：居住誘導区域 など
画 地 条 件	地 積	264.48㎡（登記面積）
	間 口 × 奥 行	約15m（南東側市道面）×約16.8m
	形 状	ほぼ長方形地
	地 勢	概ね平坦
	街路接面状況	角地
	そ の 他	なし
接面道路の状況	○南東側幅員約6m、市道、舗装（有）、概ね等高乃至約0.6m高く接面 ○北東側幅員約6m、市道、舗装（有）、概ね等高乃至約0.6m高く接面 いずれも建築基準法上：法第42条1項1号道路 系統・連続性は地域内において普通程度である。	
土地の利用状況等	物件2の建物敷地として利用されている他、画地内北東端部にスチール製物置（動産）が存する。	

供給処理施設	上水道 あり 下水道 あり ガス配管 なし (注) 供給処理施設における「あり」とは、目的物件の前面道路に該当施設の本管（以下、施設管という）が通っており、通常で敷地内への引き込みができる状態にあることをいう。「なし」とは、目的物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引き込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管が敷設されていないにもかかわらず供給処理を利用している場合や、役場での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用できるかどうか不明な場合をいう。
埋蔵文化財の有無	周知の埋蔵文化財包蔵地の指定はない。
土壌汚染の有無	現地調査や各種資料等を勘案する限度において、土壌汚染の徴表は認定し難い。
特記事項	(1) 目的土地は、「気仙沼市洪水・土砂災害ハザードマップ」において、想定最大規模の降雨により河川が決壊した場合を想定した浸水想定区域〔0.5m～3.0m未満〕に該当している。尚、「土砂災害のおそれのある区域」には該当していない。 又、目的土地は、「気仙沼市津波ハザードマップ(令和6年12月作成)」において、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合を想定した津波浸水想定区域〔5.0m～10.0m未満〕に該当している。 (2) 下水道については、画地内北東部に公共汚水柵が設置されており、受益者負担金も支払済であるが、本件目的物件所有者の話によると浄化槽を使用しているとのこと。

2 建物の概況及び利用状況（物件2）

区 分	主である建物 家屋番号 7番11	
建築時期及び 経済的残存 耐用年数	建築年月日(登記記載) 経 過 年 数 経済的残存耐用年数	平成14年7月21日新築 約24年 約26年
構 造	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建	
仕 様	外 壁	コンクリート打放し
	内 壁	ビニールクロス 等
	天 井	ビニールクロス 等
	床	フローリング、畳敷 等
	設 備	電気、給排水・衛生設備等
	そ の 他	なし
	(注) 建物に付属する各種住宅設備については、動作確認まではできないため、使用可能か否かについては不明である。	
床面積(現況)	1階 93.38㎡ 2階 52.12㎡ 延床面積 145.50㎡	
現況用途等	現況用途	居宅
	間取り	別添間取図のとおり
品 等	優 る	
保守管理の状態	普 通	
建物の利用状況等	「現況調査報告書」記載のとおり	
特 記 事 項	(1) 過去の地震等により、内壁のクロスや2階サッシ戸の下部に損傷箇所が認められる。 (2) 目的建物の室内で猫を一匹飼育している。 (3) 本件建物に係る確認申請の確認済証番号は第H14 確認建築宮城気土025号(平成14年4月11日付)であり、完了検査は受けていない。 (4) 本件目的建物について、建築時期・構造・種類等の要因を踏まえ現地調査を行った結果、アスベスト含有建材が使用されている可能性は否定できない。尚、アスベスト使用の詳細については専門調査機関の分析調査を要する。	

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

(1) 建付地価格（物件1）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡)	個別 格差	地 積 (㎡)	建付減価	建付地価格 (円)
	ア	イ	ウ	エ	ア×イ×ウ×エ=オ
1	42,300	1.03	264.48	1.00	11,523,000

ア 標準画地価格（公示価格等との規準をもとに査定）

地価公示標準地 気仙沼—5

公示価格 時点修正 標準化補正 地域格差 規準とした価格
 $44,000 \text{ 円/㎡} \times 97.1/100 \times 100/98 \times 100/103 = 42,300 \text{ 円/㎡}$

◇時点修正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：接面方位〔北西〕 $\Delta 2$ （98）（接面方位は標準を南東とした）

◇地域格差：街路条件（道路幅員）+2

交通接近条件（最寄駅への接近性等） $\Delta 1$

環境条件（周囲の利用状況等）+2

相乗積 $1.02 \times 0.99 \times 1.02 \div 1.03$ （103）

イ 個別格差：物件1の個別的要因を考慮し、物件1の標準画地に対する格差修正率を103%と判定したが、その内訳は次の通りである。

・角地 +3

ウ 地積：登記数量を採用した。

エ 建付減価：建物と敷地との適応の状態等を考慮した。

(2) 建物価格（物件2）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を判定した。

番号	再 調 達 原 価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現 価 率 ウ	建 物 価 格 (円) ア×イ×ウ＝エ
2	315,000	145.50	0.26	11,916,000

ウ 現価率

○物件2（主である建物）

経済的全耐用年数 50 年、経過年数約 24 年、経済的残存耐用年数約 26 年、観察減価及び中古建物の市場性減価 50%、残価率 0%により現価率を査定した。

$$\begin{aligned} \text{現価率} &= \{ \text{残価率 } 0\% \\ &\quad + (1-0) \times (\text{経済的残存耐用年数 } 26 \text{ 年} / \text{経済的全耐用年数 } 50 \text{ 年}) \} \\ &\quad \times (1 - \text{観察減価 } 0.50) = 0.26 \end{aligned}$$

2 評価額の判定

前記により求めた各価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

(1) 土地利用権等価格

番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等 の及ぶ範囲 イ	土地利用権等割合 ウ		土地利用権等価格 (円) ア×イ×ウ
1	11,523,000	1.00	0.35	法定地上権	4,033,000

イ 土地利用権等の及ぶ範囲：上記物件番号の土地の100%の範囲とした。

ウ 土地利用権等割合：土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を上記のとおりと判断した。

(2) 評価額（内訳価格及び一括価格）

番号	基礎となる価格 ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 イ	占有減価 修正 ウ	市場性 修正 エ	競売市場 修正 オ	評 価 額 (ア±イ)×ウ×エ×オ
1	11,523,000 円	－4,033,000 円	1.00	1.00	0.60	4,494,000 円
2	11,916,000 円	＋4,033,000 円	1.00	1.00	0.60	9,569,000 円
一 括 価 格 （ 合 計 ）						14,063,000 円

ウ 占有減価修正：修正の必要はないものと判断した。

エ 市場性修正：市場性の減価をもたらす要因は認められない。

オ 競売市場修正：「評価の条件」記載の不動産競売市場の特殊性を考慮した。

※算定結果については千円未満四捨五入の処理を行った。

第6 採用した地価公示標準地等の概要

地価公示標準地 気仙沼－5

所 在 : 気仙沼市上田中1丁目6番3

価 格 : 44,000円/㎡(対前年比△3.3%)

位 置 : JR大船渡線「気仙沼」駅の南方道路距離約3.6kmに位置する

価 格 時 点 : 令和7年1月1日

地 積 : 231㎡

供給処理施設 : 水道

接 面 街 路 : 北西側8m舗装市道に接面

用 途 指 定 等 : 非線引き・第1種住居地域(建蔽率60%・容積率200%)

地 域 の 概 要 : 一般住宅、共同住宅、事業所が混在する住宅地域

第7 附属資料

- 1 位置図(国土地理院地図)
- 2 地図に準ずる図面写
- 3 地積測量図写
- 4 建物図面・各階平面図写
- 5 土地建物位置関係図
- 6 建物間取図

以 上

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 気仙沼市田中前四丁目 |
| | 地 番 | 7 番 1 1 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 6 4 . 4 8 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 気仙沼市田中前四丁目 7 番地 1 1 |
| | 家屋 番号 | 7 番 1 1 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 鉄筋コンクリート造陸屋根 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 9 3 . 3 8 平方メートル
2 階 5 2 . 1 2 平方メートル |





地図に準ずる図面写

縮 尺 1 / 5 0 0

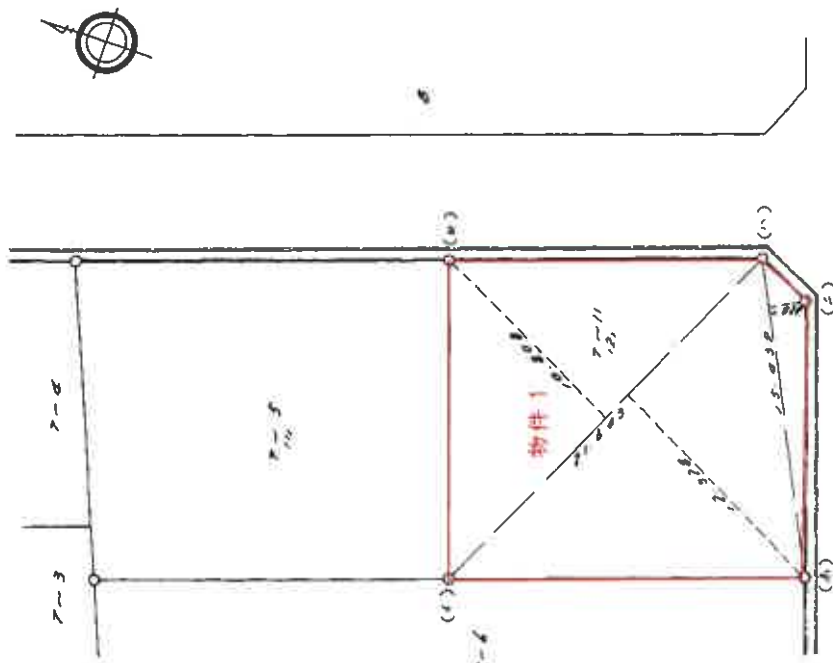
7085

地積測量圖

地 址

7-5-11

土地の所在
新仙沼市田中前四丁目



物件 1

21 663 = 10. 808 = 333. 917540
21 663 x 12. 328 = 264. 814900
15 037 = 1. 879 = 28. 37931
528. 970379
= 264. 8151895

264.48 m'

(四三三三)

(以疑定)

境界線の距離: $(1 \times 0) \times 0 + 0 \times 0 + 0 \times 0 = 0$ である。

作者

昭和57年／月 5日(作製)

申請人

縮尺 $\frac{1}{250}$

557, 1, 11

(宮城県土地家屋調査士会)

A3サイズをA4サイズに縮小した図面

38784

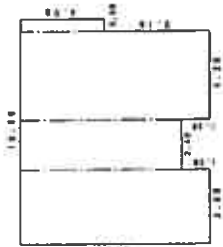
各階平面図

建物図面
各階平面図

家屋番号	7番11
建物の所在	気仙沼市中前四丁目7番地11

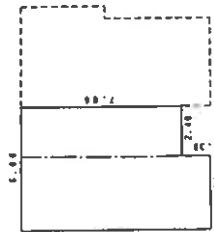
物件 2

1階



求積表
3.60 X 9.24 = 33.2640
2.40 X 7.86 = 18.8640
4.20 X 9.24 = 38.8080
0.60 X 4.08 = 2.4480
合計 93.3840
床面積 93.38 m ²

2階



求積表
3.60 X 9.24 = 33.2640
2.40 X 7.86 = 18.8640
合計 52.1280
床面積 52.12 m ²

(日積算12)

作製者	縮尺 1/250	申請人	縮尺 1/500
-----	----------	-----	----------

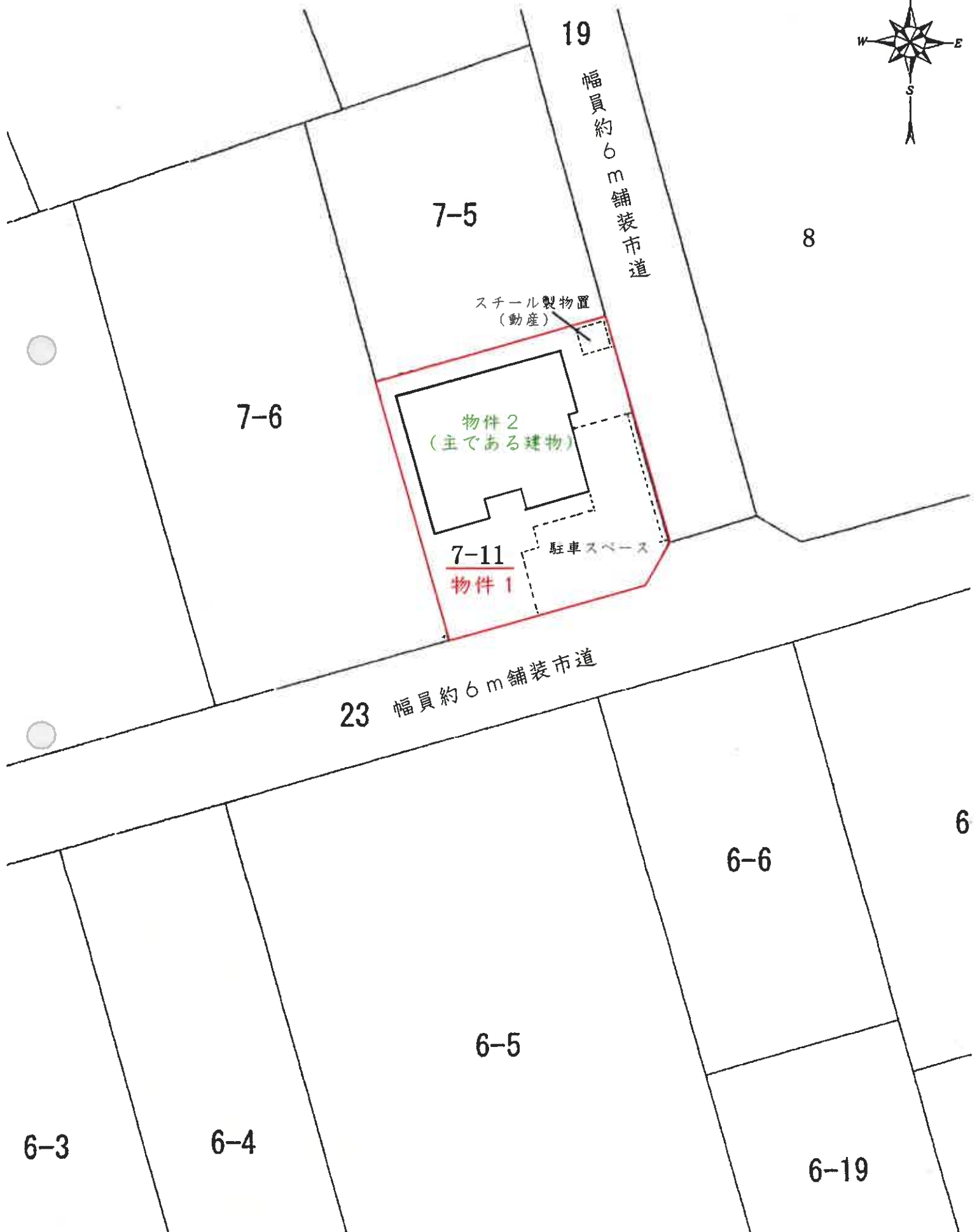
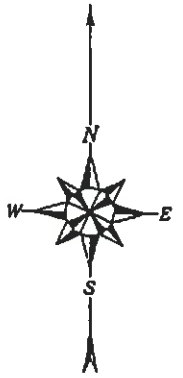
(日本土地家屋調査士会連合会用紙)

平成14.7.24

A3サイズをA4サイズに縮小した図面

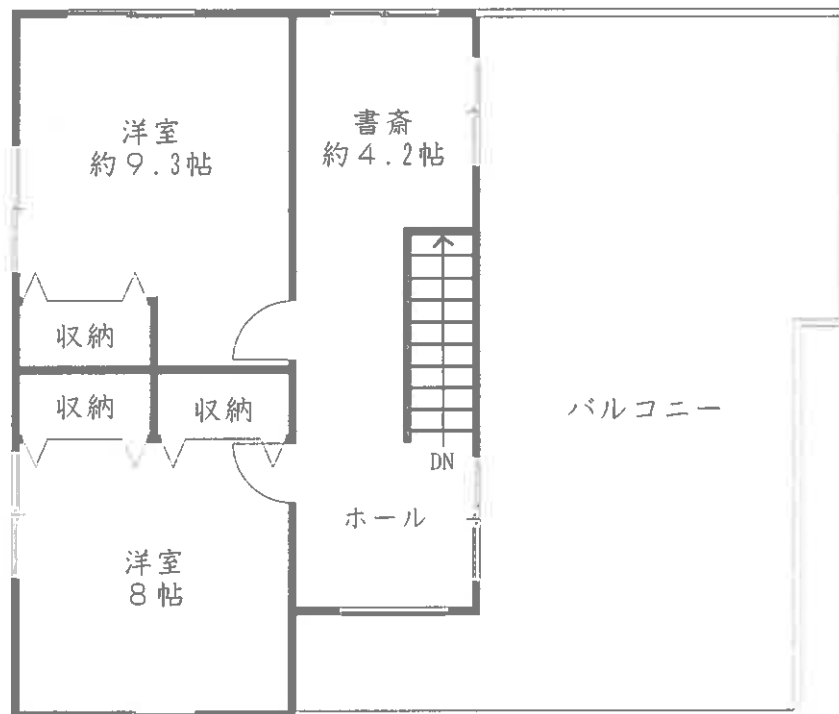
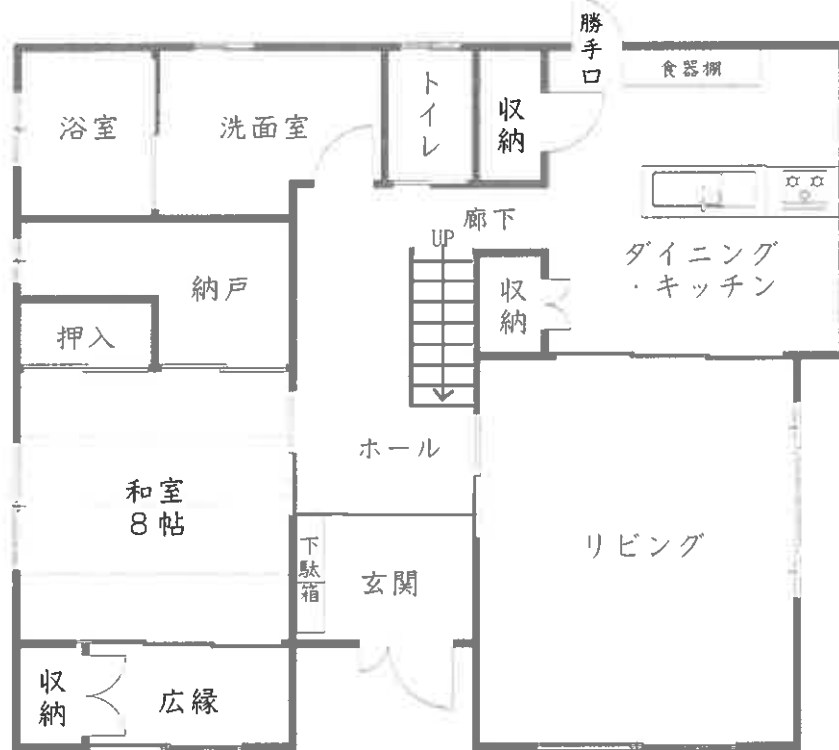
土地建物位置関係図

縮尺 1 : 300



間 取 図

〔物件 2 : 主である建物〕



縮尺 1 : 100